

令和3年度 事業報告書

◆令和3年度法人方針と活動状況について

◎はじめに・・・

まだ日々30,000人を超える方が「新型コロナウイルス」に感染する状況であります。5月20日に「マスクの着用基準」が厚生労働省より公表されたことや飲食店の人数制限の撤廃など、これまでの通常の生活に戻りつつある現状であります。しかしウクライナ問題による食品や燃料等の高騰が起こるなど、日本国内だけでなく全世界の経済が安定するまでにはまだまだ時間を要することとなりそうです。

令和3年11月19日の閣議決定により「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」として、介護・障害福祉職員を対象に収入の3%程度（月額9,000円）の引き上げを令和4年2月から9月迄実施することが決まり、また10月以降も「福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算」として、令和4年度予算編成過程において継続されることも決定しております。これは、福祉職員の慢性的な人材不足の解消への取り組みであります。採用については、まだまだ厳しい状況が続いております。

以和貴会におきましては、令和3年度予算はこれまでと比べ大幅に増加する案を出しました。理事、監事及び評議員の皆様も実現可能かどうか疑がわれたかとは思いますが、ほぼ予算を達成することができました。実現のために、各事業間の協力や目標達成するために計画した内容を確実に実行するなど、これまで行えていなかったことにも着手してきました。実現できた結果、設備の新規提供および改修を行い、ご利用者への支援環境の充実を図り、職員へは賞与等による支給などに使わせていただきました。

令和3年度は、ゆらくの里改築工事を行ない、設備の一部をリニューアルすることができました。令和4年度以降、ゆらくの里の既存建物の修繕をはじめ、風鈴山荘の定期修繕、今人移転計画、新規事業計画など、まだまだ資金を必要としております。令和4年度、収益の獲得が可能な現状において、今できることから実施を行なっていく予定であります。

「変化と考働」の継続 REBORN & RESTART IWAKI

法人方針に対する各事業の目標設定と活動結果報告

1. 各事業 令和3年度取組み報告

□ゆらくの里拠点

令和3年度は、ゆらくの里の新棟「なごみ棟」完成を控え、満床を目指して取り組みを進めると共に、なごみ棟完成に伴い、ご利用者中心のサービスの構築と短期入所の利用率向上を目指し、入所、グループホーム一体となりご利用者の支援に取り組んできました。

その中で大きな変化としては、ご利用者の毎日入浴の開始と外出支援の強化、グループ制を用いた支援があります。ただ、グループ制を用いた日中活動支援は、改築工事と12月末のなごみ棟へ引っ越し、2月上旬から3月中旬までのコロナウイルス集団感染対応の影響でほとんど執り行うことができませんでした。実施できなかったグループごとの活動につきましては、令和4年度の継続案件とします。

アクションプランの具体的な取り組みの報告は以下のとおりであります。

サービス管理面

4月より「外出支援の強化」に取り組み、サービス利用を受けることのできるご利用者は、施設外へ出掛けられる時間が大幅に増加し、従来よりも施設外での四季の変化を感じていただくことができました。令和4年度は、サービス実施の有無に関わらず、できるだけ多くのご利用者にご外出機会が持てるよう取り組みます。

10月からはご利用者の生活環境の向上を目指して、毎日入浴を開始しました。これにより、ご利用者のQOLの向上だけでなく、より清潔に暮らしていただくことができ、感染予防の面でも好影響があったのではないかと考えます。

また、ご利用者の日々の暮らしやイベントでのご様子などは、SNSを通じて外部へ継続発信することで、ご家族の方々などに随時お伝えするように努めました。この取り組みは、今後も継続していきたいと考えております。

職員の労働環境改善へのアプローチは、支援員の増員を始め、休憩室の整備、正規職員の休憩時間の確保などに取り組みました。まだ不十分なところもありますが、少しでも職員の職場環境が改善できるように、今後も継続して職員が支援に集中できる職場環境作りに努めます。

財務管理

利用率向上を目指した取り組みを行ってきましたが、新規の入所者獲得が遅れた結果、施設入所は89.7%（目標93.7% 前期比114.2%）、生活介護は95.6%（目標98.9% 前期比109.2%）と前期比は上回りましたが、目標を達成することはできませんでした。短期入所は、50.5%（目標40.0% 前期比146.8%）、人件費率58.8%（目標62%未満 前期比0.0%）とこちらは前期比を上回り、目標も達成することができました。

人材育成

なごみ棟完成後の職員の動きやグループに分かれての日中活動の支援構築を行なってきましたが、十分に育成に繋げていくことができませんでした。その為、人材育成につきましては、令和4年度の法人の重点項目として取り組みたいと考えております。

□今人拠点

▶ワークサポートセンター今人

令和3年度は、新規利用者獲得に向けた取り組みを行うとともに活動の充実を目指し、ご利用者主体になる活動内容や作業の役割分担などを見直し、ご利用者自身の達成感や自己肯定感を高めていくことに努めました。また、就労収支の改善に向け各活動において「収入を増やす」「支出を減らす」ことを目標に掲げ取り組みました。

新規利用者獲得にあたっては関係機関（特別支援学校、相談支援事業所、障害者職業支援センター等）と連携し、ご利用者募集に努め、事業所見学や事業所実習を積極的に受入れてきました。その結果、令和3年度中に1名の新規利用者の獲得につながりました。

就労収支の改善においては、パンの移動販売ができる新たな場所も増やして販売活動を行ないましたが、新型コロナの影響が未だ続いていることもあり、大きな収入増にはつながりませんでした。また、そ〜じやについては、令和3年度下期より高齢者施設の委託清掃業務がコロナ感染対策の影響による制限を受けることとなり、収入面に影響がありました。

事業毎の収支状況としては、生活介護事業は新規利用者も入り、年間の利用率で82.7%と昨年度を8.6%も上回ることができ、収支差額も昨年度より約479万円増やすことができました。しかし、利用率100%を達成するために新規利用者を増やしていくことが急務になります。

就労継続支援B型については、年間の利用率88.3%と令和2年度よりも6.4%下回りました。新規利用者の獲得と利用率向上も意識した予算であったため、福祉収入の予算は未達であり前期比97.4%となりました。

今後の課題として、ご利用者のニーズ把握に努め、利用したいと思っただけの活動の提供ができるように見直しを継続します。そのためにも令和4年度は、「魅力ある事業所作り」を通所支援課の取り組み課題とします。

▶我楽（GALA）

○生活介護「さぼーと」

令和3年度も継続して、「自閉症や強度行動障害のある方への支援の充実」を目標に専門性の向上やICTを活用するための研修受講や情報収集に取り組んできました。特別支援学校でのICTに関する学習指導を学び、実際に学校でも使用しているタブレット学習のアプリ（ご利用者の情態や障害特性に応じ活用できる知育アプリや簡易なゲームなど）を支援に提供し、ご利用者とともに取り組んでおります。またスケジュール支援の中でYouTube動画を観ていただくなど、タブレット操作になれていただくところから始めている方もおられます。

今後もICT機器も活用して、ご利用者に活動や生活の仕組みをわかりやすく伝え、ストレスや混乱を減らし不安を軽減させることができるように取り組みます。また、コミュニケーションツールとしても活用できる適切なアプリを使っただけの支援方法も検討し取り入れていきます。

収支状況としては、令和3年度中に1名の新規利用者を獲得し、毎月の利用率も100%を下回ることなく運営することができ、福祉収入は前期比119.7%と増加しました。また重度のご利用者が多いことから、重度障害者支援加算を100%算定できる人員配置を行ない、厚い支援体制を整え運営することができました。また支出は前期比95.5%と抑えることができ、事業活動収支差額は、前期比322.3%の実績を残すことができました。

○就労継続支援B型「モンステラ」

ご利用者が主体的にできる仕事を増やし、やりがいや働きがいを感じていただけるような支援を提供することを目標に日々の活動を行ってきました。また生産工程の細分化による作業効率の向上やご利用者の障害特性・能力に対応した担当業務の細分化などの見直しを実施しました。

▶すみれの里

令和3年度すみれの里では、ご利用者への健康管理支援の充実を目標に運動やリハビリ活動を実施しました。特に健康維持の強化として「口腔ケア」に取り組み、奈良県歯科衛生士協会や歯科診療所の医師といった専門家による指導を受け実施しま

した。また継続して行っているリハビリ運動活動及びボランティア団体や地域住民の方々とのふれあいなどを通して、ご利用者がいきいきと生活を営めるよう支援を行うとともに、地域に開かれた施設運営を目標に香芝市行政・ボランティア団体・地域住民と協働できるよう努めてきました。

生活介護では、職員配置の増員による支援の充実を図るため、新規利用者の獲得と重度障害者支援加算を取得し収入増になる仕組みづくりを行ないました。令和3年度2名の新規利用者と契約することができ、また重度障害者支援加算算定の為、充実した人員配置も実現することができました。

令和4年度も、ご利用者のニーズや身体状況等の把握に努め、健康維持につながるように活動内容の充実を図ります。

□地域拠点

▶ゆらくの里放課後デイ

入所施設「ゆらくの里」の改修工事に伴い、令和3年度もボノボビル4階にて活動を継続しました。ゆらくの里からボノボビルへ活動場所を移動したことにより、HUG・LIVEとの協力体制が取りやすくなったことで、新規利用契約を積極的に結ぶことができました。しかし、令和3年度上期と比べると、下期は2月～3月に新型コロナウイルス関連による利用休止や陽性者、濃厚接触者が多発したことにより、利用率が下がる結果となりました。しかしながら、上期に利用率を高い水準で安定できていたことにより、年間平均利用率では令和2年度よりも8.3%増加の82.5%で、令和3年度を終えることができました。

利用率向上のための取り組みとしては、タブレットを使用した学習支援を取り入れ、発達年齢に応じた課題を提供しながら実年齢の学習に追いつけるよう、学校及びご家庭と連携しながら活動を行ないました。また、休日の余暇支援活動では、参加児童数向上に向けて活動内容の充実も図り、室内での活動のほか、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら味覚狩りやプール教室、山登り等の活動を実施し参加を積極的に募りました。

令和4年度4月より正式にボノボビル4階に移転が決まったことで、事業所の変更申請を行いました。事業所名称は「ゆらくの里放課後等デイサービスセンター」から「JOY(ジョイ)」に変更し、所在地がHUG・LIVEと同じになることから、「放課後等デイサービスセンターHUG・LIVE・JOY」というひとつの事業所として登録をしました。令和4年度は目標利用率を90%以上とし、利用率向上に向けてHUG・LIVEとの連携強化を深めつつ、創意工夫を続けながら日々の活動の充実を図ります。

▶HUG・L I V E

HUG・L I V Eもゆらくデイと同様に新型コロナウイルス感染拡大による影響は大きかったものの、年間を通して安定した高い利用率を保つことができました。

2月～3月は新型コロナウイルス関連による利用休止やキャンセルが相次ぎ、利用率の低迷があったものの、年間の平均利用率では令和2年度より3.2%増加の87.9%で令和3年度を終えることができました。

利用率向上のための取り組みとしては、小学生クラスの「HUG」では、療育支援の一つのツールとしてタブレットを使用した学習支援やノートパソコンを使用したExcelの練習を実施しました。また、中高生クラスの「L I V E」では、法人内通所事業と連携し、就労体験学習を夏休み期間中に実施しました。その他、就労後の余暇の充実を目標として、外出支援や季節に応じた余暇活動の提供を行い、学校卒業後の生活を豊かにしていくための取り組みを実施しました。

HUG・L I V E、ゆらくデイ共に新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響は大きかったものの、感染防止対策を徹底しながら利用受け入れを実施したことにより、令和3年度の目標としていた収支差額をクリアすることができました。

▶相談支援事業（しえ〜く）

令和3年度は、退職・異動に伴う人員配置の変更に伴い、1名減の2名体制となったことにより、目標相談件数697件に対し、実施件数575件と計画していた目標には到達することができませんでしたが、人件費減により収支は黒字化しました。

事業活動としては、新型コロナウイルス感染対策の影響を受けながらも自立支援協議会や各部会に少人数開催やWeb等を利用した形式で参加し、情報収集を行いながら、行政や他法人の相談支援事業所との連携を深めることができました。

令和4年度においては、2名体制での相談件数増加は困難な状況ではありますが、ニーズに合わせた質の高い情報提供を行い、ご利用者本人に不利益とならないような対応ができるよう法人内各事業所と協力体制を取りつつ、他法人との連携も積極的に取り組みます。

▶共同生活援助事業（グループホームのあ）

令和3年度は1年を通じ、定員12名で満床を継続することができました。支援については、ご利用者が地域生活を安心・安全・快適に過ごせるよう個々に「生活面」「就労」「余暇支援」に着目して取り組みました。また、ご家族様・後見人・相談支援事業所・日中支援事業所・医療機関などと電話連絡や訪問を通じて連携強化を図り、ご本人に寄り添った支援を行いました。

収入増の取り組みとしては、以下の内容を行いました。

- ①人員配置基準を「5:1」から「4:1」に変更

②入居定員の規模を変更し、大規模住居等減算を撤廃

③福祉専門職員配置等加算の取得

また、地域ニーズに応えるべく開始した2つの取り組み（8月から併設型短期入所事業、12月からサテライト住居*）も利用収入増に繋がりました。

※サテライト型住居とは、本体住居となるグループホームで食事や余暇活動といったコミュニケーションをはかる場所があることが前提となり、そこから少し離れた場所にある一人暮らしに近い状態で生活を送れる住居のことを言います。

ご利用者へ良質なサービスを提供する為の取り組みとしては、職員の支援能力向上が必要となることから、不定期ではありましたが、日本知的障害者福祉協会の月刊誌「さぼーと」を活用し学習会を実施しました。令和4年度は定期的に取り組み継続していくこととします。また、パート職員に対して、個別育成指導として以下の内容を伝達致しました。

- ①法人理念
- ②福祉サービスの現状
- ③障がい特性（主に自閉症スペクトラム障害）
- ④権利擁護及び虐待防止
- ⑤入居者の現状と成育歴

全体として、効率よくスケジュール管理ができなかったことが課題として残りました。令和4年度はこの課題を踏まえ、ご利用者へのより良い支援を提供できるように方針を策定し、アクションプランをスケジュール通りに取り組みます。

▶ヘルパー事業（そ〜る123 居宅介護・行動援護・移動支援）

令和3年度は、今までのご利用者の外出時間の少なさを改善すべく、「ご利用者に可能な限り外出機会を！」という考えに立ち、外出ニーズを調査し、行動援護や移動支援の強化に取り組みました。2月・3月の2か月間は、ゆらくの里のコロナウイルス集団感染の影響を大きく受け、サービスを中止することがありましたが、それ以外の月は、県内のコロナ感染状況を毎日確認し、サービス内容を変更しながら継続的に実施することができました。その結果、令和2年度のご利用件数が796件に対して、令和3年度は2,179件となり1,383件増加することができました。また、より良い支援を行うため、毎月のヘルパーに向けての研修の実施、支援に関する資料の配布など、人材育成にも積極的に取り組みました。

収入向上のための取り組みについては以下の通りです。

- ①令和2年度に行動援護・移動支援・居宅介護をご利用された方のニーズを聞き取り、そのニーズに対応することで利用日数を増やすことができました。

②ヘルパーの時間給の見直しを図ることでヘルパーの契約数を増員することができ、利用件数増加に結びました。

③特定事業所加算（I）の加算条件を満たし、加算取得を行いました。

令和4年度は、前年度のコロナ禍の中で、サービスを中止せずに継続してきたことで、地域の利用ニーズが増加しており、このニーズに応えるために正職員を2名増員し事業運営を図ります。

そ〜る123では、法人理念である「その人らしくその人なりの人生を支え続ける」を実践する為、積極的に地域の障がいを持っておられる方が社会参加できるようにサービスを提供させていただきます。

○利用率

① ゆらくの里（入所支援事業） 定員60名

	R03.4.1	増加	減少	R04.3.31	平均年齢	平均年数
男	38	3	2	39	47.9	17.4
女	17	2	0	19	53.6	21.4
計	55	5	2	58	49.8	18.7

※1名が入院、1名が死亡による減少。5名が新規で入所されました。

ゆらくの里（生活介護事業） 定員60名

	R03.4.1	増加	減少	R04.3.31	平均年齢	平均年数
男	53	1	2	52	48.2	18.9
女	18	2	0	20	52.1	20.4
計	71	3	2	72	49.3	19.3

風鈴山荘（共同生活援助） 定員14名

	R03.4.1	増加	減少	R04.3.31	平均年齢	平均年数
男	13	0	0	13	49.0	23.5
女	0	0	0	0	—	—
計	13	0	0	13	49.0	23.5

※平均年数は、ゆらくの里の入所と通算で記載

② 今人

事業名	定員	R01年度 利用率	R02年度 利用率	R03年度	
				延べ人数	利用率
就労継続B型	10	78.9	94.7	2313	88.3
生活介護事業	20	76.7	74.1	4336	82.7

我楽

事業名	定員	R01年度 利用率	R02年度 利用率	R03年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	97.7	99.8	5492	104.4
就労継続B型	10	100.5	99.9	2496	97.5

すみれの里

事業名	定員	R01年度 利用率	R02年度 利用率	R03年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	84.9	70.2	4067	77.3
就労継続B型	10	62.9	68.6	1463	56.7

③ 放課後等デイサービス

事業名	定員	R01年度 利用率	R02年度 利用率	R03年度	
				延べ人数	利用率
ゆらくの里デイ	10	81.8	74.2	2236	82.5
はぐらいぶ	20	87.2	84.7	4766	87.9

のあ

事業名	定員	R01年度 利用率	R02年度 利用率	R03年度	
				延べ人数	利用率
共同生活援助	13	98.6	99.1	4508	99.5

※令和3年11月1日よりサテライトを開始し定員が13名に変更

○利用契約者数

過去よりゆらくの里の入所をはじめ、定員に満たない事業所がありました。良い支援を行うためには、利用率を上げ高い水準で収入を確保することから始める必要があることを意識し、ご利用者の充足を図りました。令和4年3月31日現在、定員に未達の事業もありますが、引き続きご利用者の獲得を進め、同時に職員の適切な配置と支援の充実を進めていきます。

① 今人

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和3年4月1日	令和4年3月31日		
就労定着支援		2	2	→	—
就労継続B型	10	11	11	→	1.10
生活介護事業	20	19	20	↑	1.00

我楽

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和3年4月1日	令和4年3月31日		
生活介護事業	20	24	25	↑	1.25
就労継続B型	10	12	14	↑	1.40

※平成30年6月より、生活介護の定員を15名⇒20名に変更

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和3年4月1日	令和4年3月31日		
生活介護事業	20	19	21	↑	1.05
就労継続B型	10	8	6	↓	0.60

② 放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和3年4月1日	令和4年3月31日		
ゆらくの里デイ	10	36	40	↑	4.00
はぐらいぶ	20	71	72	↑	3.60

③ 短期入所

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和3年4月1日	令和4年3月31日		
ゆらくの里 短期入所	10	48	48	→	4.80
風鈴山荘 短期入所	4	12	12	→	3.00
のあ 短期入所	1	—	2	↑	2.00

のあの短期入所は、令和3年8月1日より定員1名で開設。

□令和3年度職員状況について

令和3年度は法人全体として、正職員は横ばい、非正規職員は15名増加しました。ご利用者の増加への対応及び充実した支援の実施につなげるため、これからも適正配置を意識した雇用を継続していきます。

正規職員の採用は、新卒は2名のみでありましたが、退職者も多数いたことから中途採用5名を採用しました。ゆらくの里の改築工事後の生活支援や活動を見直した上での増員、ヘルパー事業の充実のためなど、今後も職員採用を進めていく予定であります。(令和4年4月採用の新卒者は5名)

事業名	R3. 3. 31						R4. 3. 31						
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
ゆらくの里													
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2							
正職員	15	14	29	16	12	28	28.0	8.9	8.2	8.6	41.6	42.8	42.1
パート職員	9	12	21	18	15	33	13.2						
計	26	26	52	36	28	63	41.2						
今人													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1							
正職員	3	2	5	3	1	4	4.0	11.5	6.9	10.6	40.4	32.9	38.9
パート職員	1	6	7	1	7	8	4.2						
計	5	8	13	5	8	13	8.2						
我楽													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1							
正職員	3	2	5	4	3	7	7.0	7.3	8.7	7.8	45.9	47.8	46.6
パート職員	2	16	18	3	18	21	12.1						
計	6	18	24	8	21	29	19.1						
すみれの里													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1							
正職員	2	3	5	2	3	5	5.0	8.8	10.5	9.7	40.7	39.8	40.3
パート職員	3	13	16	3	14	17	9.7						
計	6	16	22	6	17	23	14.7						
ゆらくの里デイ													
児童発達支援管理責任者	0	1	1	1	0	1							
正職員	1	2	3	1	2	3	3.0	14.0	2.4	8.2	39.0	25.4	32.2
パート職員	1	0	1	1	0	1	0.5						
計	2	3	5	3	2	5	3.5						
はぐ・らいぶ													
児童発達支援管理責任者	2	0	2	1	1	2							
正職員	0	4	4	0	4	4	4.0	15.0	4.3	6.1	36.1	29.4	30.5
パート職員	3	2	5	2	3	5	2.8						
計	5	6	11	3	8	11	6.8						
しえ〜く													
正職員	1	2	3	1	1	2							
パート職員	0	1	1	0	1	1		3.1	6.4	4.8	43.9	49.8	46.9
計	1	3	4	1	2	3							
事業企画推進室													
正職員	2	0	2	1	1	2							
パート職員	-	-	-	-	-	-		8.0	0.2	4.1	32.0	30.2	31.1
計	2	0	2	1	1	2							
のあ													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1							
正職員	0	1	1	0	1	1	1.0	5.9	14.0	10.0	46.9	55.9	51.4
パート職員	1	10	11	1	8	9	3.3						
計	2	11	13	2	9	11	4.3						
そーる 123													
サービス提供責任者	1	0	1	1	1	2							
正職員	0	1	1	0	0	0		11.0	11.2	11.1	48.2	55.1	51.7
パート職員(登録)	0	3	3	1	4	5							
計	1	4	5	2	5	7							
管理・厨房													
正職員	6	4	10	6	4	10							
パート職員	2	10	12	3	8	11		9.4	13.0	10.8	47.6	50.5	48.7
計	8	14	22	9	12	21							
合計													
サービス管理責任者	9	1	10	9	2	11							
正職員	33	35	68	34	33	67		9.2	8.0	8.8	42.6	41.2	41.6
パート職員	21	74	95	32	78	110							
計	63	110	173	75	113	188							

※看護師はゆらくの里に含み、アルバイト職員は含んでいない。
 ※パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の令和4年3月支給の給与期間により算出しているため、あくまで参考である。(常勤の月勤務時間数を150時間で計算)
 ※合計欄の「サービス管理責任者」には、「児童発達支援管理責任者」及び「サービス提供責任者」を含む。
 ※そーるのパートは、法人外の雇用ヘルパーのみ記載し、職員の兼務者は含まない。

□令和3年度残業について

「働き方改革」により業務の改善を進め、残業時間は減少傾向にありましたが、ゆらくの里では、新型コロナウイルス感染症対応の為に時間外対応が必要となりました。また各事業において、無駄な時間外業務は減少したものの、ご利用者の重度化対応、休日開所の計画や準備など新たな発生要因となっております。

〔時間〕

単位：時間

分類	R01 年度	R02 年度	R03 年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	2423:45	2157:45	42	2690:45	+24.7%	5:24
通所	2526:15	1772:15	15	1537:30	△13.2%	8:21
地域	2052:15	1819:00	12	1674:15	△7.9%	11:28
計	7002:15	5749:00	69	5902:30	+2.6%	7:08

〔金額〕

単位：千円(1人当りは円)

分類	R01 年度	R02 年度	R03 年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	4,590	4,104	42	5,047	+23.0%	10,156
通所	4,298	3,132	15	2,849	△9.0%	15,610
地域	3,263	3,029	12	2,853	△5.8%	19,542
計	12,152	10,266	69	10,750	+4.7%	13,027

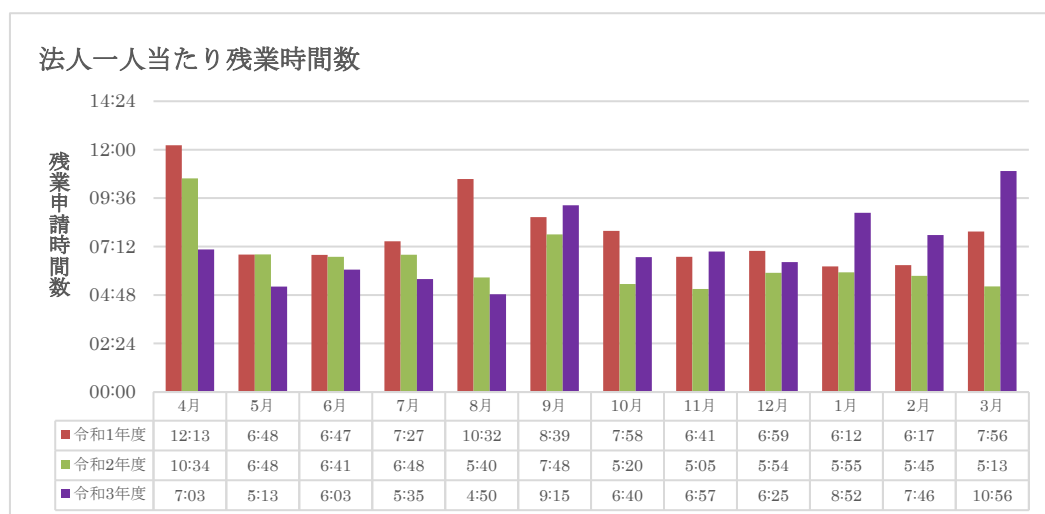
※集計は申請分のみ

※職員数(人)は、時間外を申請した職員数(途中退職者含む)で、管理者は除く。

※分類 ゆらくの里・・・下記以外の事業(間接職員含む)

通所・・・・・・今人、我楽、すみれの里

地域・・・・・・児童、のあ、しえーく



□令和3年度有給休暇取得について

平成31年4月からの「働き方改革」により、年5日の有給休暇の取得が義務化され、令和3年度は、計画通り年5日以上取得は実施できました。その他増加の要因は、コロナウイルス感染症への感染及び濃厚接触等による有給休暇取得のほか、退職等に伴う有給休暇取得が増加したことにあります。（地域においては、令和2年度に退職等による取得が多く、令和3年度は減少したため）

分類	R01年度	R02年度	R03年度			
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数	未取得者数
ゆらくの里	358.0	330.5	47	523.0	10.46	0
通所	263.5	194.5	17	241.5	13.76	0
地域	149.0	110.5	12	69.0	4.93	0
計	765.5	635.5	76	833.5	10.20	0

※資料は、退職者を含む同期間の正職員全員を対象とする。

※各事業の管理者を含む。

※分類 ゆらくの里・・・ 下記以外の事業（間接職員含む）

通所・・・・・・ 今人、我楽、すみれの里

地域・・・・・・ 児童、のあ、しえーく

□令和3年度事業活動収入対人件費比率について

令和3年度人件費総額は、前期比105.9%（32,401,362円）増の574,590,325円となりました。職員の増加、特定処遇改善加算の支給など増加要因がありました。しかし、事業活動収入も大幅に増加させることができましたので、対収入人件費率は、61.7%と令和2年度と比べ△7.0%と割合を下げることができました。

「人材」は法人にとって、貴重な「財」であるため、人件費に掛ける費用は更に上昇することが予想されます。人件費比率を下げるには、収入を増やすしか方法はありませんが、収入も上限一杯となってきております。

《ゆらくの里分類》

人件費は、令和2年度と比べ約5000万円増加しましたが、事業活動収入も約9000万円増やすことができたことで、人件費比率は、令和2年度59.5%に対し令和3年度は58.8%とさらに減少することができました。令和4年度は、人件費の増加が予想されますが、入所施設及びグループホームの定員に空きがあり入居者を増やすことが可能であることから、急激な人件費率の上昇は起こらない予定であります。

《通所分類》

人件費率は、令和2年度と比べ△11.3%の62.3%と大きく改善しました。人件費の削

減だけでなく、事業活動収入の増加も実行できた結果であります。令和4年度の予算は、人件費で1000万円以上の増加を見込んでおりますが、事業活動収入もそれ以上の増収の計画をしていることから、人件費率も更に改善を進めることができる予定であります。

《地域分類》

人件費率は、令和2年度と比べ△13.6%の64.7%と大幅に減少しました。通所分類同様、人件費削減及び事業活動収入の増加を実行できたことにあります。令和4年度は、事業活動収入も更に改善を進めますが、人件費の増加がそれを上回るため人件費率は増加する予定であります。

[比率]

分類	R01 年度	R02 年度	R03 年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	63.8%	59.5%	58.8%	△0.7%
通所	65.4%	73.6%	62.3%	△11.3%
地域	69.8%	78.3%	64.7%	△13.6%
計	65.3%	66.9%	60.8%	△6.1%

※分母の収入には就労収入を含んでおります。就労収入を差引くと法人全体で63.1%（前期比△6.8%）となります。

※分類 ゆらくの里・・・ 下記以外の事業（本部を含む）
 通所・・・ 今人、我楽、すみれの里
 地域・・・ 児童、のあ、しえーく

[金額]

単位：千円

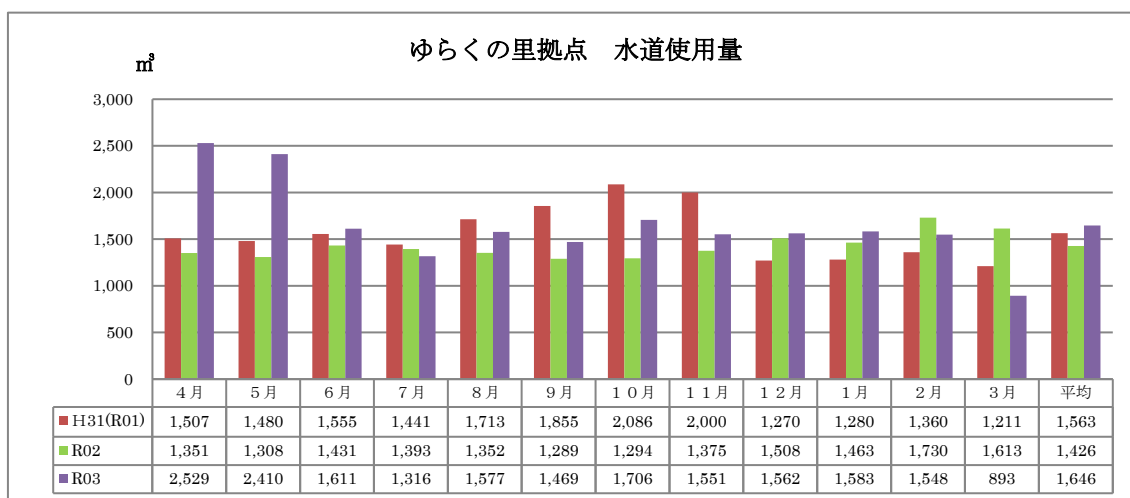
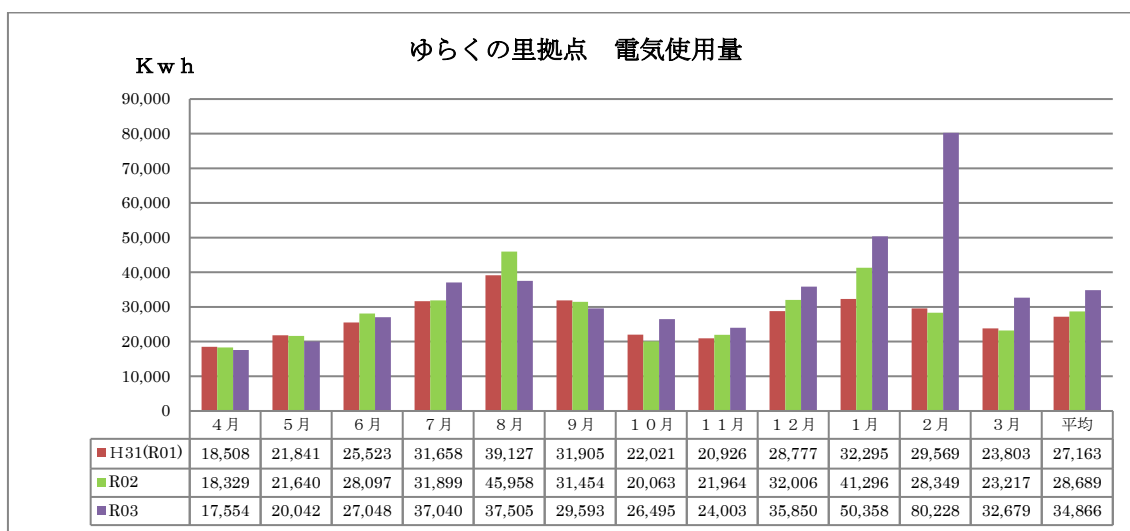
分類	R01 年度	R02 年度	R03 年度		
			人件費	前年度比較	増減率
ゆらくの里	252,466	253,538	304,564	+51,026	120.1%
通所	172,375	177,301	166,714	△10,586	94.0%
地域	94,060	105,100	94,450	△10,649	89.8%
計	518,903	535,939	565,730	+29,790	105.5%

□令和3年度上期光熱水費について

① ゆらくの里拠点

ゆらくの里では、環境班を中心に光熱水費のムダを減らすため、毎月全職員へ情報の発信を行ない、使用していない部屋の電気やエアコンの確認、無駄な水の使用をなくすように留意しております。しかし令和3年度中にも漏水があり水道量が増加しました。また新棟「なごみ棟」の完成や毎日入浴など増加する要因はありますが、ご利用者への生活面の改善や健康面を配慮した結果であります。

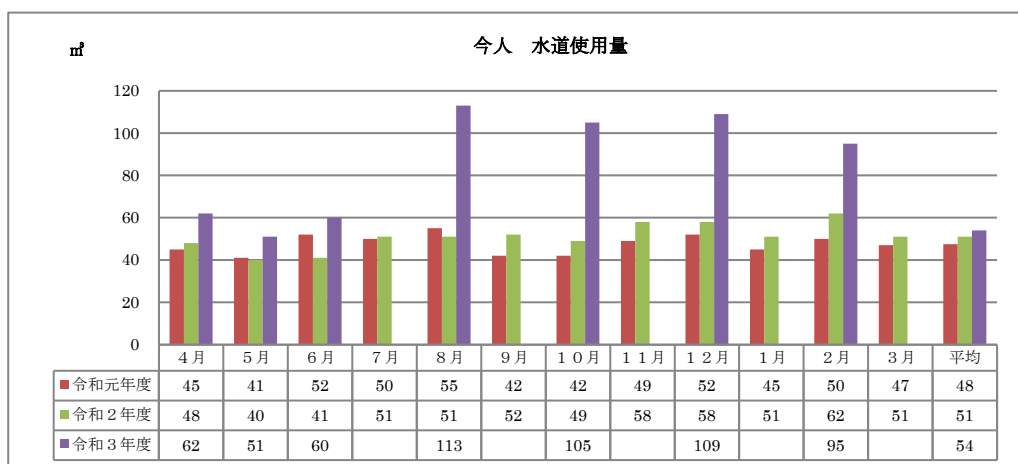
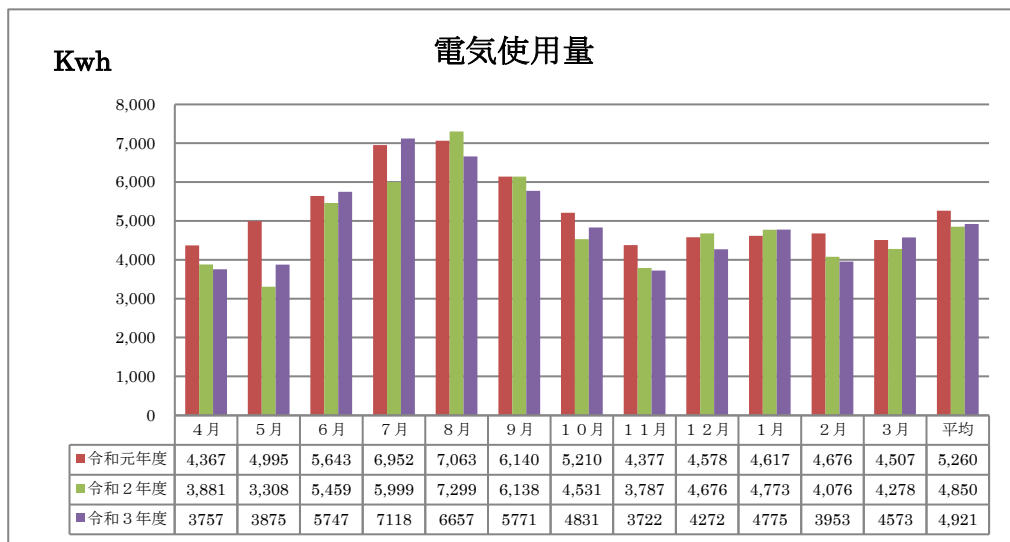
	令和2年度	令和3年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	6,136 千円	7,544 千円	121.5%	122.9%
水道	5,179 千円	6,055 千円	115.4%	116.9%



② 今人拠点（今泉）

電気、水道共に令和2年度と比べ、若干増加しました。パンの製造販売が増加に転じ、生産量が増加した事も要因であります。なお水道は、2カ月に1度の検針及び支払いとなり、令和3年度は11カ月のみの計上となりました。

	令和2年度	令和3年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,094 千円	1,207 千円	101.5%	110.3%
水道	136 千円	138 千円	101.8%	97.2%



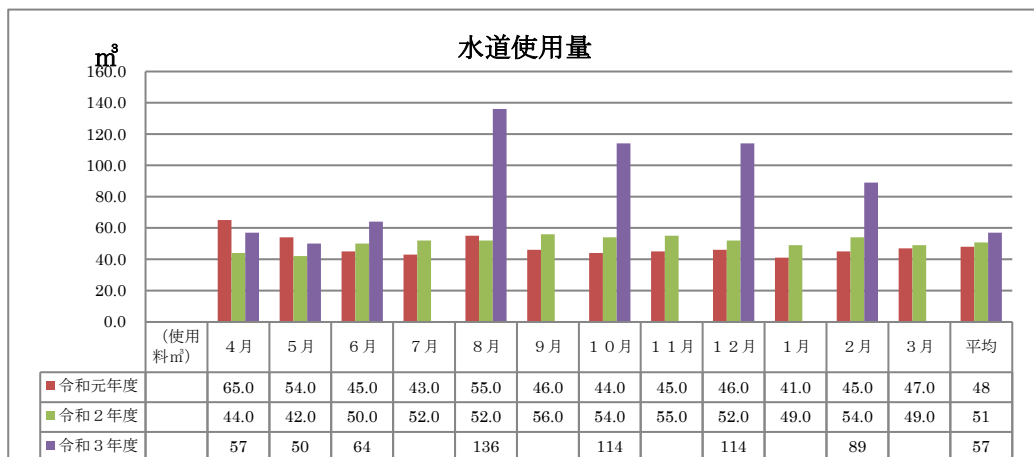
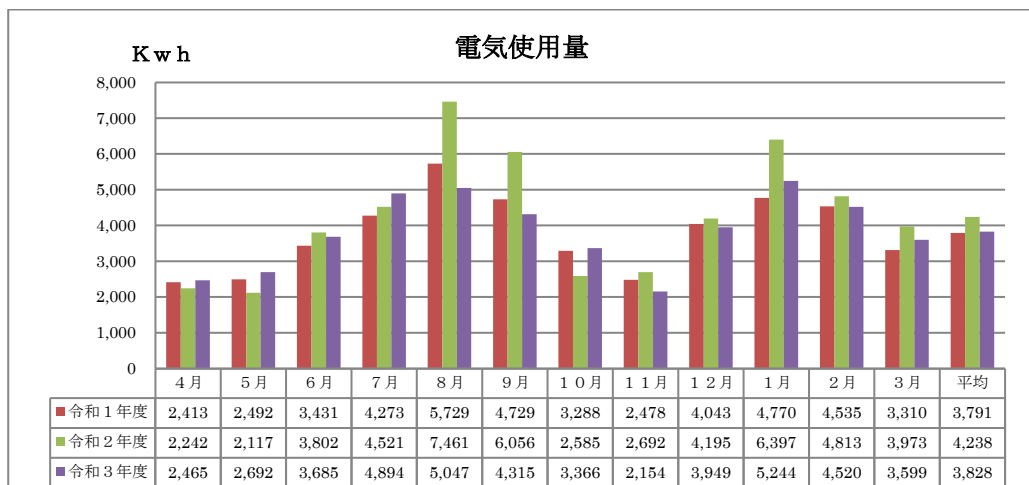
③ そら（福祉センター内）

ふたかみ文化センターでの運営において光熱水費は、家賃込で売上の10%となっているため正確な数字がつかめず、また会計においても計上しておりません。令和4年6月より、香芝市総合福祉センター内での運営に戻ります。その際には、光熱水費が把握できるようになるので、再度管理することとします。

④ すみれの里

電気、水道ともに無駄なく使用できておりますが、単価上昇に伴い、費用が増加しております。更にムダの削減を意識していきます。なお今人と同様に水道は、2カ月に1度の検針及び支払いとなり、令和3年度は11カ月のみの計上となりました。

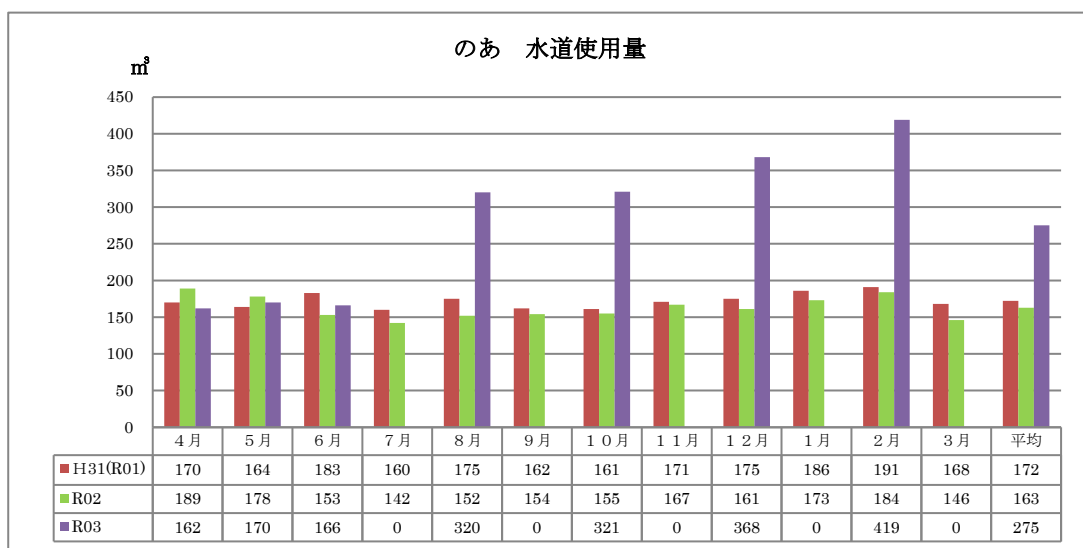
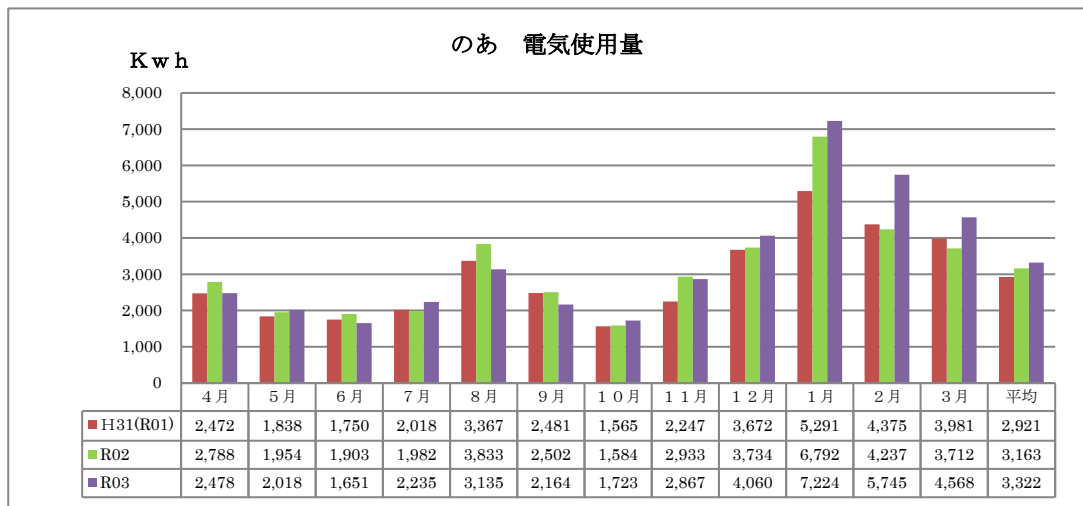
	令和2年度	令和3年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,339千円	1,363千円	90.3%	101.8%
水道	216千円	245千円	102.5%	113.2%



⑤ のあ（穴虫 グループホーム）

電気、水道共に増加しております。電気は、冬季のエアコン使用の増加、水道は漏水が発生したことが要因となっております。令和4年度は、古いエアコンの入替を行なうなど、効率よい使用を進め電気代の削減を図る計画をしております。なお今人と同様に水道は、2カ月に1度の検針及び支払いとなり、令和3年度は11カ月のみの計上となりました。

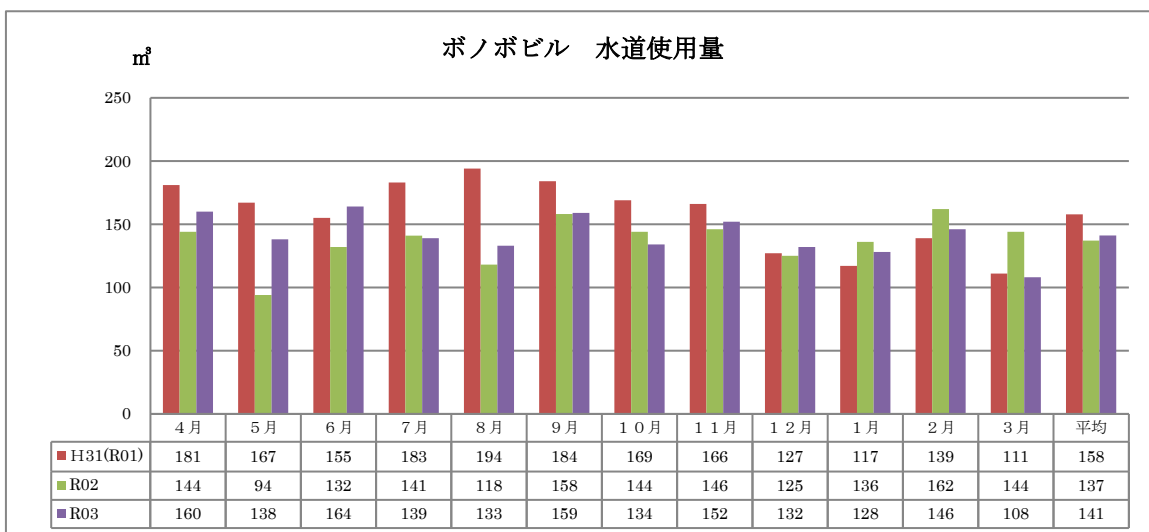
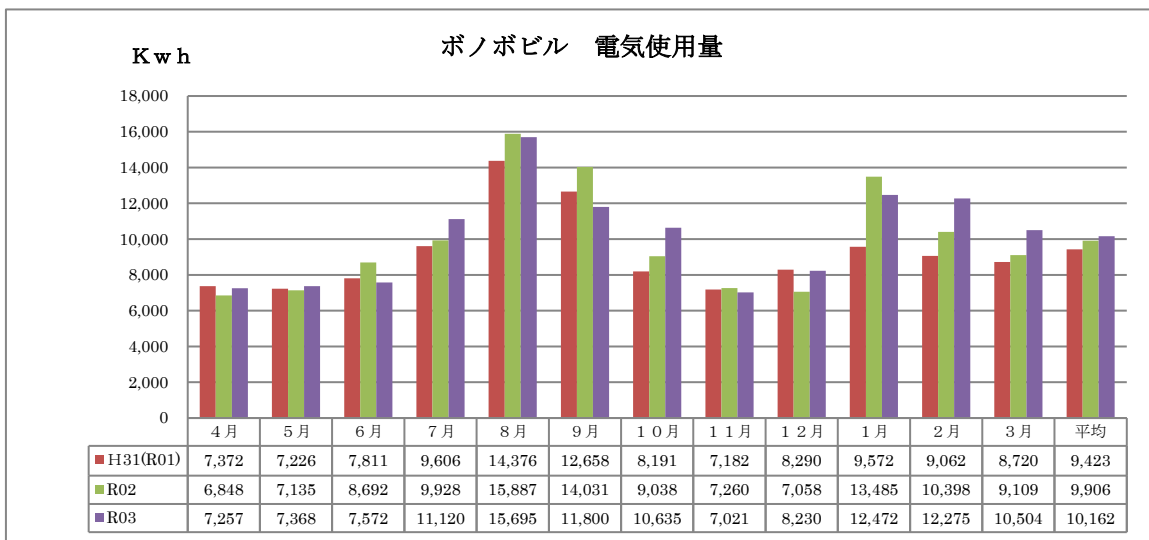
	令和2年度	令和3年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	891 千円	1,022 千円	105.0%	114.6%
水道	294 千円	327 千円	98.6%	111.0%



⑥ ボノボビル（磯壁 地域拠点）

電気、水道共に増加しております。コロナ禍ではありますが、カフェの売上の改善及びボノボビルで働く職員及びご利用者も著しく増加していることも要因となっております。

	令和2年度	令和3年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	3,395 千円	3,651 千円	102.6%	107.5%
水道	297 千円	326 千円	103.0%	109.8%



□令和3年度就労支援施設の就労金について

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響も減り、ほぼ通常に活動ができるようになりました。ご利用人数の増加等に伴い、工賃は伸びていく傾向にはありますが、収入の増加が工賃支払い額に追いついていない活動もあります。各活動の収入増は、工賃増加につなげることができ、工賃増加は、単価が上がることで福祉収入増につなげることになります。各活動が、ご利用者のやりがいや収入増加につながるものに見直しが必要であります。

○各事業における1人1カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

		令和2年度		令和3年度		
		工賃総額	1人当たり/月	工賃総額	1人当たり/月	
今人	就労継続B型	1,936,588	16,138	1,949,548	16,383	↑
	生活介護	2,251,086	10,719	2,429,184	10,164	↓
	計	4,187,674	12,690	4,378,732	12,231	↓
我楽	就労継続B型	3,181,449	22,405	2,772,093	20,534	↓
	生活介護	662,105	2,725	1,218,169	4,414	↑
	計	3,843,554	9,983	3,990,262	9,709	↓
すみれの里	就労継続B型	2,120,030	20,990	2,103,700	25,972	↑
	生活介護	662,105	2,725	692,510	2,737	↑
	計	2,767,680	8,516	2,796,210	8,372	↓
合 計		10,798,908	10,384	11,165,204	10,123	↓

○各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

		令和2年度	令和3年度	
今人	就労継続B型	53.7%	52.7%	↓
	生活介護	34.1%	35.5%	↑
	計	41.0%	41.5%	↑
我楽	就労継続B型	18.3%	19.9%	↑
	生活介護	2169.4%	2394.9%	↑
	計	22.1%	24.1%	↑
すみれの里	就労継続B型	32.5%	27.8%	↓
	生活介護	445.0%	660.7%	↑
	計	41.5%	36.5%	↓
合 計		31.5%	32.0%	↑

※就労収入には、内部売上を含む。

□令和3年度固定資産の推移について

ゆらくの里の改築工事が完了し固定資産が大幅に増加しました。その他の資産の増加は、現物資産の更新によるものが大半です。今後修繕を含め、老朽化した資産の更新が続き、金額ベースでも年間数千万円クラスの費用をかけていかなければなりません。令和3年度のように収支差額が予定を上回り残すことが出る状況において、将来に向けた積立を積極的に行なっていきます。

◎取得一覧

単位：円

内容	金額	拠点区分	予算
《建物》			
ゆらくの里 なごみ棟	481,628,190	ゆらくの里	
《構築物》			
ゆらくの里 なごみ棟	36,222,848	ゆらくの里	
《車両運搬具》			
キャラバン（福祉車両）	3,114,080	ゆらくの里	
ワゴンR	977,170	地域	
《器具備品》			
全自動洗濯機	731,500	ゆらくの里	
福祉の森サーバー	792,000	ゆらくの里	
機械室循環ポンプ	181,500	ゆらくの里	
のあB棟 給湯器	169,700	地域	
のあH棟 給湯器	169,650	地域	
のあI棟 給湯器	169,650	地域	
のあA棟 給湯器	230,000	地域	
ゆらくの里 MAXHUB	814,000	ゆらくの里	
ゆらくの里 なごみ棟	8,761,592	ゆらくの里	
のあサテライト エアコン	127,600	地域	
事業企画推進室 パソコン	100,760	本部	
《ソフトウェア》			
福祉の森システム	1,121,230	ゆらくの里	
計	535,311,470		

◎処分一覧

単位：円

内容	金額	拠点区分	予算
ゆらくの里 中庭整備工事	621,443	ゆらくの里	
ゆらくの里 理事長室応接セット等	3	ゆらくの里	
計	621,446		

※同資産処分に伴い、国庫補助金等の取崩額は、3,936,255円であります。

□令和3年度修繕費の推移について

1. 過去3年間の推移

ゆらくの里において、新棟が建ったものの、既存の建物はこれから継続して大型の修繕が必要となってきます。資金の調達を含め、計画立てて実施していくこととします。

単位：円

拠点	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ゆらくの里	2,480,242	2,427,856	6,258,877
今人	671,900	608,711	399,902
地域	4,237,573	904,912	594,543
計	7,389,715	3,941,479	7,253,322

2. 修繕事業別内訳

ゆらくの里では、トイレや厨房など水回りの老朽化が進み修繕が増加しております。また施設内には多くのガラス窓があるため、割れにくいポリカーボネートへ順次入替を実行しております。

単位：円

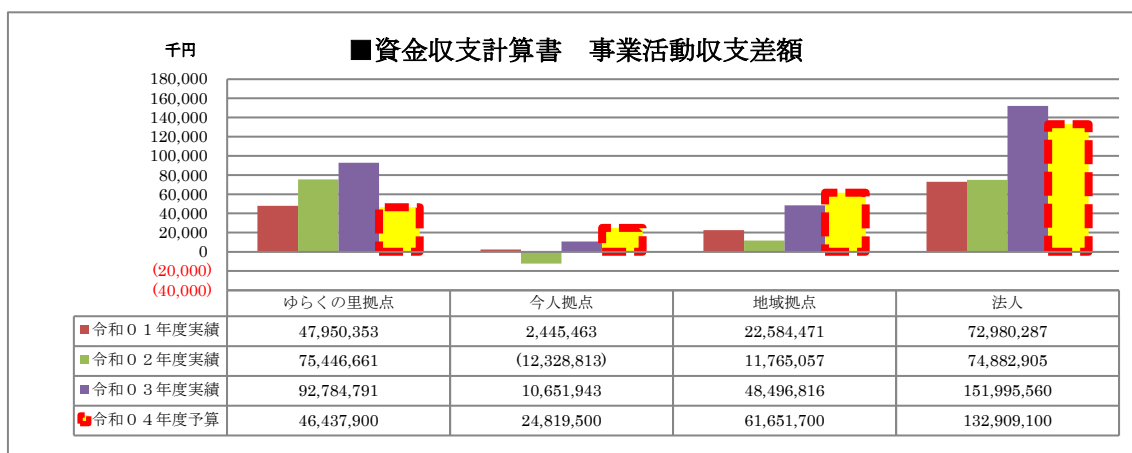
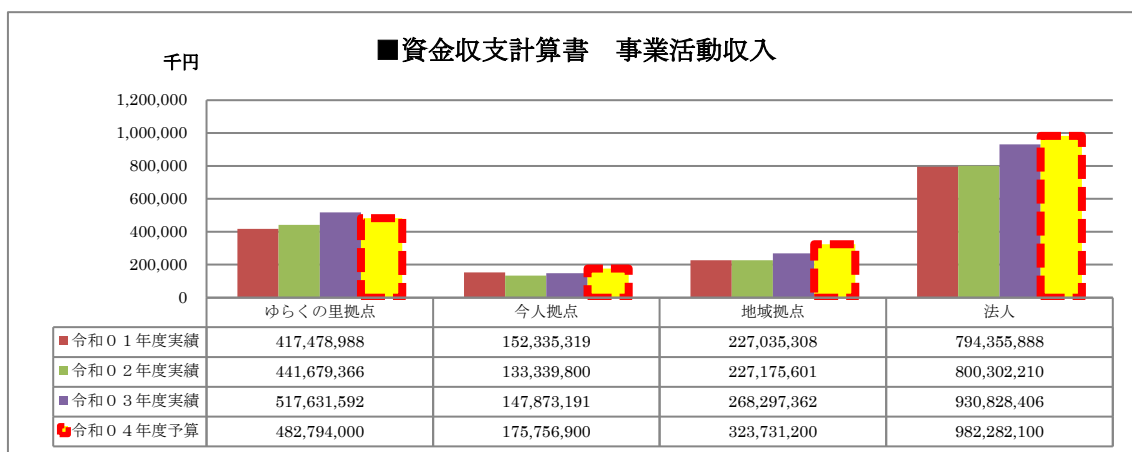
分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り（機械含む）	3,391,960	187,550	161,040	3,740,550
ガラス	980,894	—	—	980,894
その他設備	1,886,023	30,016	324,603	2,240,642
製造原価	—	182,336	108,900	291,236
計	6,258,877	399,902	594,543	7,253,322

□令和3年度 経営成績について

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染により、通所事業を閉めなければならなかった期間や入所施設のクラスター化など、運営に影響がありました。福祉収入については、職員の増員を実施し、重度のご利用者への支援の充実を図ることで

「重度障害者支援加算」の算定やご利用者への利用意向を反映させた休日開所など「利用をしたい事業所」を目指し運営することができました。当初は、これまでにない高い目標には見えましたが、実行可能で正確な予算の策定であり、毎月の確認と修正により実行を可能としました。就労収入については、食堂及びカフェなど飲食業の売上回復の兆しが見えてきました。しかし、就労収支を見ると、畑作業を除きすべての活動で赤字運営となっております。（畑もご利用者の参加が難しいため、工賃発生がないことから黒字となっております。）現在の各活動の見直しは急務となっております。

会計上、法人運営は大きく改善しましたが、施設の老朽化など近い将来に必要である大きな費用発生に備えた積立を積極的に行い、また令和4年度も修繕を進めていく計画をしております。



○拠点別報告

1. 法人全体として

資金収支計算書において、事業活動収入は、130,526,196円増（前期比116.3%、予算達成率101.9%）の930,828,406円、また事業活動支出は、53,413,541円増（前期比107.3%、予算達成率103.6%）の778,832,846円、結果、事業活動収支差額は、77,112,655円増（前期比202.9%、予算達成率94.3%）の151,995,560円と予算を目標通りほぼ達成することができました。

収入の内訳として、就労収入は、飲食業の売上が回復の兆しを見せておりますが、生食パンの販売の遅れなどにより、就労収入全体としては、357,930円減（前期比98.8%、予算達成率70.2%）の31,815,171円となりました。また、福祉収入は、高い予算設定ではありましたが、各事業において毎月の管理報告を行ない、計画どおり実行することで、予算達成を可能としました。127,681,448円増（前期比116.8%、予算達成率102.7%）の886,842,410円と大幅な増加となりました。

費用の内訳として、人件費は重度のご利用者への支援の充実を図るなど職員を増員したこともあり、32,401,362円増（前期比105.9%、予算達成率101.8%）の574,590,325円と大幅に増加しました。またコロナ対応として消耗品の購入や老朽化した施設の修繕など、事業費及び事務費は、令和2年度を10%以上超える支出となりました。

《要約事業活動収支計算書》

	単位：円		
	R02年度	R03年度	増減
事業活動収入	800,302,210	930,828,406	130,526,196
事業活動支出	725,419,305	778,832,846	53,413,541
事業活動収支差額	74,882,905	151,995,560	77,112,655

《事業活動収入》

	単位：円		
	R02年度	R03年度	増減
就労事業収入	32,173,101	31,815,171	▲357,930
福祉サービス収入	759,160,962	886,842,410	127,681,448
その他	8,968,147	12,170,825	3,202,678
計	800,302,210	930,828,406	130,526,196

《事業活動支出》

	単位：円		
	R02年度	R03年度	増減
人件費	542,188,963	574,590,325	32,401,362
事業費	87,764,642	98,385,678	10,621,036
事務費	54,134,583	63,483,195	9,348,612
就労支援事業支出	36,996,806	37,950,666	953,860
その他	4,334,311	4,422,982	88,671
計	725,419,305	778,832,846	53,413,541

2. ゆらくの里拠点

ゆらくの里（入所支援、生活介護、短期入所）、風鈴山荘（共同生活援助、短期入所）、
ゆらくの里放課後等デイサービス

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R02年度	R03年度	増減
事業活動収入	441,679,366	517,631,592	75,952,226
事業活動支出	366,232,705	424,784,791	58,552,086
事業活動収支差額	75,446,661	92,846,801	17,400,140

《事業活動収入》

事業活動収入は、76,052,226円増（前期比116.5%、予算達成率110.3%）の517,631,592円となりました。空き定員の補充の実施、重度高齢化したご利用者への支援の充実を図ったことでの「重度障害者支援加算」の算定、グループホーム風鈴山荘の日中支援型への移行などにより収入増を図りました。

単位：円

	R02年度	R03年度	増減
就労事業収入	—	—	—
福祉サービス	435,352,779	507,315,155	71,962,376
その他	6,326,587	10,316,437	3,989,850
計	441,679,366	517,631,592	75,952,226

《事業活動支出》

重度高齢化したご利用者への支援の充実を図るため人員を増加、施設内の修繕及び新棟の備品購入等の増加、コロナウイルス感染に伴う消耗品等の購入など、支出は増加しました。

単位：円

	R02年度	R03年度	増減
人件費	274,917,452	311,828,449	36,910,997
事業費	60,980,447	71,844,602	10,864,155
事務費	26,660,014	37,066,391	10,406,377
就労支援事業支出	—	—	—
その他	3,674,792	4,045,349	370,557
計	366,232,705	424,784,791	58,552,086

3. 今人拠点

今人（生活介護、就労継続B型、就労定着）、すみれの里（生活介護、就労継続B型）

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R02年度	R03年度	増減
事業活動収入	133,339,800	147,873,191	14,533,391
事業活動支出	145,668,613	137,221,248	▲8,447,365
事業活動収支差額	▲12,328,813	10,651,943	22,980,756

《事業活動収入》

事業活動収入は、14,533,391円増（前期比110.8%、予算達成率92.2%）の147,873,191円となりました。就労事業収入は、飲食業の回復もあり増加に転じました。福祉サービス収入は、令和2年度と比べ大幅な改善となりましたが、就労継続B型の定員の空きの解消が改善されておらず、まだ改善が可能な状況にあります。

単位：円

	R02年度	R03年度	増減
就労事業収入	16,695,793	18,000,575	1,304,782
福祉サービス	115,661,105	128,915,360	13,254,255
その他	982,902	957,256	▲25,646
計	133,339,800	147,873,191	14,533,391

《事業活動支出》

事業活動支出は、8,447,365円減（前期比94.2%、予算達成率98.7%）の137,221,248円となりました。正職員の退職及び休職（育休）など人件費の減少が一番の要因であり、その他費用として大きな支出は発生しませんでした。

単位：円

	R02年度	R03年度	増減
人件費	103,557,542	95,663,182	▲7,894,360
事業費	10,808,683	10,722,497	▲86,186
事務費	10,923,092	10,519,714	▲403,378
就労支援事業支出	20,063,450	20,093,256	29,806
その他	315,846	222,599	▲93,247
計	145,668,613	137,221,248	▲8,447,365

4. 地域拠点

しえ〜く（相談支援）、はぐらいぶ（放課後等デイサービス）、のあ（共同生活援助、短期入所）
我楽（生活介護、就労継続B型）、そ〜る（行動援護、移動支援等）

《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R02年度	R03年度	増減
事業活動収入	227,175,601	268,297,362	41,121,761
事業活動支出	215,410,544	219,800,546	4,390,002
事業活動収支差額	11,765,057	48,496,816	36,731,759

《事業活動収入》

事業活動収入は、41,121,761円増（前期比118.1%、予算達成率93.5%）の268,297,362円となりました。カフェの売り上げ回復はありましたが、焼き菓子等の販売の回復がまだ思わしくなく減少しました。また福祉サービス収入は、相談支援事業の1名減員に伴う相談実施数の減少で収入減となりましたが、ヘルパー事業の実施改革における大幅な増収をはじめ、全事業において事業運営の改善を図ったことで収入増につながりました。

単位：円

	R02年度	R03年度	増減
就労事業収入	17,291,015	16,703,035	▲587,980
福祉サービス	208,147,078	250,611,895	42,464,817
その他	1,737,508	982,432	▲755,076
計	227,175,601	268,297,362	41,121,761

《事業活動支出》

事業活動支出は、4,390,002円増（前期比102.0%、予算達成率97.8%）の219,800,546円となりました。重度のご利用者への支援など職員配置の充実を図ったことから人件費は増加したものの、他の費用は大きな支出もなく予算内で終えることができました。

単位：円

	R02年度	R03年度	増減
人件費	163,713,969	167,098,694	3,384,725
事業費	16,589,692	17,359,536	769,844
事務費	17,437,694	16,886,002	▲551,692
就労支援事業支出	17,325,516	18,301,280	975,764
その他	343,673	155,034	▲188,639
計	215,410,544	219,800,546	4,390,002

5. 就労事業活動

《活動別収入》

就労事業において、10の活動を提供しておりますが、令和2年度との比較で収入は5事業で増加。主に飲食業の改善の兆しが見えてきている一方で、コロナウイルスの影響もあり「そ〜じや」の収入が減少しました。また減少した活動の1つ「菓子の製造販売」は、令和2年度中にパティシエが退職したこともあり、同等数の製造ができないこと、販売先の開拓などを埋めることができず、令和3年度は大きく減少することとなりました。

令和4年6月より、ふれあいキッチンSORA（レストラン業）は、香芝市総合福祉センターへ戻り営業します。福祉センターを利用される方々への食事提供など収入アップが見込んでおりますが、就労活動全体の収入アップを図り、ご利用者への工賃アップにつなげ、また工賃アップが福祉収入報酬算定アップにつなげることができるよう、活動提供の見直し等を図ります。

単位：円

活動名		R02年度	R03年度	増減	
今人	ふえりーちえ（パン）	7,442,502	7,757,438	314,936	104.2%
	そ〜じや（掃除）	2,423,143	2,275,656	▲147,487	93.9%
	内職	332,246	374,796	42,550	112.8%
	計	10,197,891	10,407,890	209,999	102.1%
我楽	菓子	6,665,043	5,555,223	▲1,109,820	83.3%
	カフェ	10,638,196	11,154,940	516,744	104.9%
	内職	30,520	29,582	▲938	96.9%
	計	17,333,759	16,739,745	▲594,014	96.6%
すみれ	BDF	395,757	301,355	▲94,402	76.1%
	畑	74,850	106,760	31,910	142.6%
	内職	160,140	119,948	▲40,192	74.9%
	レストラン	6,036,498	7,145,282	1,108,784	118.4%
	計	6,667,245	7,673,345	1,006,100	115.1%
合計		34,198,895	34,820,980	622,085	101.8%

※内部売上を含む。

《活動別収支》

単位：円

活動名		売上	経費	利益	利益率
今人	ふえりーちえ（パン）	7,757,438	8,261,709	▲504,271	—
	そ〜じや（掃除）	2,275,656	2,435,683	▲160,027	—
	内職	374,796	501,985	▲127,189	—
	計	10,407,890	11,199,377	▲791,487	—

活動名		売上	経費	利益	利益率
我楽	菓子	5,555,223	6,535,391	▲980,168	—
	カフェ	11,154,940	11,471,471	▲316,531	—
	内職	29,582	708,465	▲678,883	—
	計	16,739,745	18,715,327	▲1,975,582	—
すみれ	BDF	301,355	1,198,847	▲897,492	—
	畑	106,760	104,648	2,112	1.9%
	内職	119,948	739,700	▲619,752	—
	レストラン	7,145,282	7,821,564	▲676,282	—
	計	7,673,345	9,864,759	▲2,191,414	—
合計		34,820,980	39,779,463	▲4,958,483	—

《活動経費（原価）率》

材料費、労務費、経費それぞれの金額は、収入増に伴い増加しております。また材料費、労務費及び経費の割合が増加した結果、収支がマイナスとなっております。各経費の削減及び材料費等価格上昇による販売価格の見直しが必要となっております。

単位：円・%

活動名		材料費		労務費		経費		計
今人	ふえりーちえ (パン)	2,382,344	30.7	2,254,713	29.0	3,624,652	46.7	8,261,709
	そ〜じや (掃除)	—	—	1,690,613	74.2	745,070	32.7	2,435,683
	内職	—	—	375,281	100.1	126,704	33.8	501,985
	計	2,382,344	22.8	4,320,607	41.5	4,496,426	43.2	11,199,377
我楽	菓子	1,548,394	27.8	1,925,676	34.6	3,061,321	55.1	6,535,391
	カフェ	5,547,851	49.7	1,414,246	12.6	4,509,374	40.4	11,471,471
	内職	—	—	708,465	2394.9	—	—	708,465
	計	7,096,245	42.3	4,048,387	24.1	7,570,695	45.2	18,715,327
すみれ	BDF	13,550	4.4	38,690	12.8	1,146,607	380.4	1,198,847
	畑	46,199	43.2	1,180	1.1	57,269	53.6	104,648
	内職	—	—	739,700	616.6	—	—	739,700
	レストラン	3,178,386	44.4	2,021,640	28.2	2,621,538	36.6	7,821,564
	計	3,238,135	42.1	2,801,210	36.5	3,825,414	49.8	9,864,759
合計		12,716,724	36.5	11,170,204	32.0	15,892,535	45.6	39,779,463

※外注加工賃（外注仕入）は、材料費に含む。

※割合は、対売上高比率

◆パン事業 [今人：生活介護事業など ふえり〜ちえ]

既存の移動販売場所によっては、コロナ禍で対面販売活動の制限が継続しているところもあるため、新規の販路を増やし、売上向上に向け販売活動を行いました。

また支出の削減に取り組み、原材料の仕入れ見直し検討、他に備品消耗品などの使用管理などを行い、経費の無駄を省けるように取り組み、材料費割合30.7%、経費割合35.0%（減価償却除く）という結果になりました。

令和4年度については、販路拡大、法人内ご利用者ご家族・職員への定期販売、そして生食パンの製造を本格的に開始し、収入向上に努めます。

◆掃除事業〔今人：就労移行支援事業 そ〜じや〕

令和3年度については、不定期で行なっていた臨時業務を固定の委託業務として確立できるように、実践を通じて調整を図ることを目標に取り組みできました。民間駐車場の除草作業、地域企業のDM封入・ポスティング請負を事前に計画して実施することができました。

令和4年度には、ゆらくの里清掃委託費が改定となり、収入増を見込めます。また、オプション作業も計画的に実施していきます。特に公用車の洗車活動については、定期的に実施ができるよう職員配置を調整し、月の売上目標が達成できるよう取り組みます。

◆内職班〔今人：生活介護事業〕

内職作業だけに留まらず、ご利用者がやりがいや興味をもって取り組める新たな活動を模索することを継続していくことを目標に取り組みました。

また新たな内職作業を増やすための取り組みも行い作業を安定供給もしつつ、月の収入目標を意識して取り組みました。

◆製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

福祉事業としては、事業所実習を積極的に受入れることを行い、新規利用者獲得に向けて取り組んでまいりました。その結果、令和3年度中にスイーツファクトリーモンステラで2名の新規利用者と契約することができました。ご利用者への支援方針としては、「ご利用者自身が成長を感じられるような活動を提供する」として、ご利用者主体で製造できる商品を中心に活動の充実に向け取り組みました。

就労活動の収支改善に向けた取り組みとしては、地域とのつながりを大切にし、近隣自治会の子供会イベントでの贈答品として、お菓子の発注をいただけるように受注営業を行ったり、学童保育所のおやつなどを定期的に受注できるように取り組みました。子供会のイベントや学童保育所のおやつなどの受注は定期的に受けることができたことで収入増につながっております。その他、道の駅などで商品を置き売りできるようにするなど営業活動に取り組みましたが、令和4年度も継続して販路拡大と収入増につなげていきたいと考えます。また、法人内ご利用者ご家族向けの商品販売をこれまで以上に積極的に実施していくことと販路拡大に向けた営業活動に力を注いでいきます。

◆カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

就労収支の改善に向けては、新商品の開発・販売による収入増と経費削減による

支出減に取り組んできました。上期は「クロッフル」という商品を販売し、好評を得ました。下期では新作サンドイッチを開発し、美味しいサンドイッチが味わえる店としての試みを実施しました。また、ふれあいキッチン SORA が行っている市役所行政向けの弁当注文販売網を活用し、サンドイッチランチの注文販売を実施するなど取り組んでまいりました。その中でも「生食パン」の開発を行ってきましたが、令和3年9月にパン職人が退職、後任の採用があり、「生食パン」は令和3年度末に完成するに至りました。販売を開始し始めたのは令和4年度になってからではありますが、約2年の歳月をかけ、開発した食パンを販売していくにあたって、しっかりと計画立てて取り組んで参ります。

令和4年度につきましては新作食パンを売り出し、リピーターを増やし収入アップを図っていき、また来店者数を向上させるため、定期的にイベントを開催していきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症の影響も次第に薄らいでいくと考え、新作食パンを軸とした販売を継続して取り組んで参ります。新作食パンを販売し、売上を向上させることは、ご利用者の工賃をアップさせるためだけでなく、職に困っている障がいのある方の働く場を創設することにつながれると考えます。

◆レストラン事業〔すみれの里：B型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

令和3年度も就労収支の改善に向け取り組んできました。新型コロナウイルスの感染拡大状況がレストラン利用客数に影響を及ぼしておりましたが、来店者を増やすために宣伝チラシを作成し、ご利用者とともに近隣住宅にポスティングする活動やロビーでの配布などを行ってきました。加えて、昨年度より弁当受注販売に注力し、市役所・警察署・学校等への弁当配送も実施しました。お客様に飽きられないよう日替わり弁当も投入するなどメニューの更新も行ないました。また小学校の長期休み期間中に学童保育を利用する児童向けのお弁当の販売は昨年度に比べて、注文数が増加しました。継続して取り組んできたことで口コミによる反響もありました。共働き家庭も多く、長期休み中の学童保育利用児童も年々増えているため、より多くの弁当を受注できる方策を考えます。

令和2年度から令和3年度にかけて、1か月平均売上を約10万円増加させることができました。また、経費の点検、材料の節約や仕入れの見直し、販売価格等の検討、備品・消耗品の使用管理を徹底し、支出の削減に努めました。その結果、収支差額は令和2年度の△2,295,697円から、△649,526円と赤字ではありますが改善することができました。

令和4年度については香芝市総合福祉センターに戻り、収入増と支出減に取り組みます。

◆モンステラファーム〔すみれの里：就労継続支援 B 型事業〕

ご利用者への活動提供としてのあり方を検討してきました。ご利用者の高齢化・重度化に伴い、農作業に従事できる方が減ってしまっており、現在は畑に行き、職員が収穫した野菜を洗ったり、袋に詰めたりする作業が主になっております。すみれの里の活動としてのあり方について見直しも含め、検討をすすめています。

◆環境班〔すみれの里：就労継続支援 B 型事業〕

香芝市が設置している廃油収集場所や市内の小中学校・保育所の給食事業で出る廃油の回収売却を実施しています。香芝市との連携活動でもあり、ご利用者への活動として継続し提供できております。

活用できていないバイオ燃料精製設備の廃棄ならびに同設置スペースの使用用途について検討をしておりますが、早期に結論を出し、次の新たな活動につなげていきます。

◆内職班〔すみれの里：生活介護事業〕

内職のタッパウェアの蓋閉め梱包作業は、同じ手順を繰り返し行う内容ですので、重度のご利用者であっても従事しやすく、意欲的に参加される方も多く、やりがいに繋がっている活動です。機能訓練の一つとして側面も合わせており、今後も継続して提供していきたいと考えています。

※各活動は、就労収入でご利用者の工賃の支払いに繋ぐことが必要であります。赤字活動で工賃の支払いが出来ていないのであれば、黒字化する工夫が必要でありますし、原点として、各活動におけるご利用者の方の「仕事」の提供が適正であるかを再度見直していかなければなりません。

□資金残高について

◆資金（預金残高）の推移について

1. ゆらくの里拠点・地域拠点

単位：円

	平成30年 3月31日	平成31年 3月31日	令和2年 3月31日	令和3年 3月31日	令和4年 3月31日
実残高	181,944,978	171,136,846	182,104,118	200,635,193	302,465,095
積立	97,900,000	114,030,000	110,298,000	79,700,000	123,100,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上 現預金残	84,044,978	57,106,846	71,806,118	120,935,193	179,365,095
前期 比較	↑ 30,567,240	↓ 10,808,132	↑ 10,967,272	↑ 18,531,075	↑ 101,829,902

※前期比較は、預金実残高で比較

2. 今人拠点

単位：円

	平成30年 3月31日	平成31年 3月31日	令和2年 3月31日	令和3年 3月31日	令和4年 3月31日
実残	52,781,383	54,159,856	55,755,968	47,323,901	62,402,289
積立	24,940,000	25,940,000	26,740,000	26,740,000	26,740,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上 現預金残	27,841,383	28,219,856	29,015,968	20,583,901	35,662,289
前期 比較	↑ 14,827,217	↑ 1,378,473	↑ 1,596,112	↓ 8,432,067	↑ 15,078,388

※各事業の収支増に伴い、法人全体の指標より良いと思われる。

◆積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

単位：円

科目	ゆらくの里	今人	地域	計
施設整備等積立金	93,200,000	13,000,000	28,000,000	134,200,000
工賃変動積立金	—	1,495,000	400,000	1,895,000
設備等整備積立金	—	12,245,000	1,500,000	13,745,000
計	93,200,000	26,740,000	29,900,000	149,840,000

□令和3年度研修等報告

1. ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
3月18日	虐待防止研修 近畿地区知的障害者施設協会	Web	小川・疋田 中島
3月25日	近畿地区知的障害関係施設職員研修会 近畿地区知的障害者施設協会ほか	Web	服部・小川 疋田

2. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月5日	食事提供体制加算について 社会福祉法人青葉仁会	イーハトーブそら	森田・山林
6月25日	ICT活用学習指導要領について	西和養護学校	秋田
10月19日	通所事業見学 社会福祉法人こぶしの会	すたあと(就労継続支援B型) コミュニティワーク こっから(生活介護)	森田

3. 児童課

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
9月22日 30日	奈良県福祉医療部主催 発達障害者支援研修会(基礎研修)	動画配信	浦田・堺井 の場・村井 今仲・松本奈 塩川・松本は

4. 地域支援(グループホームのあ)

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月17日	サテライト事業運営・支援面情報収集と事業所間ネットワークの構築 合同会社しあわせ工房	奈良県奈良市杉ケ町	松下・福本

5. 事業企画推進室

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月20日	「障がい福祉業界を対象にした“これから”の採用&研修セミナー」 Lean on Me	Web	中山・西原

6月17日	マイナビ新卒採用支援セミナー& チャット情報交換会 (株)マイナビ	Web	西原
6月17日	令和3年度 福祉人材・採用力UP セミナー 奈良県福祉人材センター	Web	中山・西原
7月20日	マイナビ採用戦線報告会 (株)マイナビ	Web	西原
7月29日	奈良県社会福祉法人経営者協議会 青年経営者会 オンラインオープン セミナー	Web	中山・西原
8月20日	マイナビ採用戦線報告会 マイナビ(株)	Web	西原
8月24日	令和3年度安全運転管理者講習 奈良県安全運転管理者協会	ふたかみ文化センター	西原
9月3日	マイナビセミナー「JAPAN HR TV 2021」 マイナビ(株)	Web	西原
10月6日 7日	全国知的障害関係施設長等会議 日本知的障害者社協会	Web	中山
10月13日 14日	KAIGO HR FORUM 2021 ～ニューノーマル時代を戦い抜く、 介護・福祉業界の人材戦略～ KAIGO HR	Web	西原
10月21日 11月18日 12月16日 1月20日 2月17日	ECサイトのはじめ方講座①～⑤ 日本セルフセンター	Web	西原
11月11日	ゼロからはじめるお店の宣伝講座 ～お店の魅力を引出す写真をスマホ で撮ろう!～ 香芝市商工会	Web	西原
11月30日	オンライン勉強会～福祉現場のICT 活用～ 奈良県社会福祉法人経営者協議会 青年経営者会	Web	西原
3月18日	虐待防止研修 近畿地区知的障害者施設協会	Web	中山・西原
3月22日	PR&ブランディングセミナー 全国社会福祉法人経営者協議会	Web	西原

6. 厨房

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
8月17日	令和3年度奈良県栄養士会研究発表 会 (公社) 日本栄養士会	Web	米田